

## 年度評価シート

課名 福祉総務課

施設の名称 静岡市地域福祉交流プラザ	指定管理者名 社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会															
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。</p> <p>(1) 施設利用者数</p> <p>令和3年度会議室貸出状況は以下のとおり。</p> <table border="0"> <tr> <td>①第1会議室</td> <td>件数： 481件</td> <td>利用者数： 4,309人</td> </tr> <tr> <td>②第2会議室</td> <td>件数： 347件</td> <td>利用者数： 4,284人</td> </tr> <tr> <td>③第3会議室</td> <td>件数： 347件</td> <td>利用者数： 4,284人</td> </tr> <tr> <td>④ボランティア交流室</td> <td>件数： 560件</td> <td>利用者数： 2,248人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>件数： 3,213件</td> <td>利用者数： 15,125人</td> </tr> </table> <p>(2) 事業実施状況</p> <p>地域福祉に関する研修等、啓発・情報提供事業、相談・助言等の事業については、新型コロナウイルス感染防止のため中止されたものを除き、事業計画のとおり良好に実施された。「地域交流まつりへの参加」や同事業中止時の代替企画「城東保健福祉エリア自主ツアー」については、感染防止のため中止したが、代替として、城東保健福祉エリア設立時から使用している来館者用案内パンフレットを改定した。</p> <p>主な事業と参加者は以下のとおり。</p> <p>①地域福祉講演会の開催</p> <p>今年度は、コロナ禍のため、家で過ごす時間が増える傾向にあり、日々の健康づくりについて学ぶ機会を提供し、家庭や地域での健康活動の推進を図ることを目的に、以下の講演会を企画していたが、まん延防止等重点措置が適用されたことから中止した。</p> <p>【講演名】「からだが笑えばこころも笑う」</p> <p>【実施予定日時】 令和4年2月3日(木)13:30～15:00 【参加希望者】 一般市民 31名</p> <p>②地域ボランティア入門・養成講座の開催</p> <p>城東保健福祉エリアボランティアに特化したボランティア養成講座を実施しサポート役として様々な場面で活躍できるようスキルアップを図った。</p> <p>【講座名①】「イマドキの子育て事情と支援について」</p> <p>【実施日時】 令和3年6月23日(水)14:30～15:40 【参加者】 12名(うち一般3名)</p> <p>【講座名②】「救命救急教室」</p> <p>【実施日時】 令和3年11月24日(水)13:30～15:30 【参加者】 10名</p> <p>③地域福祉交流事業の開催</p> <p>高齢者、子ども子育て、障がい者など多様な領域の関係者や社会福祉に関心のある市民を対象に、定期的な情報交換、交流の機会を提供し、社会福祉への理解と、地域福祉活動の促進を図ることを目的に開催。</p>		①第1会議室	件数： 481件	利用者数： 4,309人	②第2会議室	件数： 347件	利用者数： 4,284人	③第3会議室	件数： 347件	利用者数： 4,284人	④ボランティア交流室	件数： 560件	利用者数： 2,248人	合計	件数： 3,213件	利用者数： 15,125人
①第1会議室	件数： 481件	利用者数： 4,309人														
②第2会議室	件数： 347件	利用者数： 4,284人														
③第3会議室	件数： 347件	利用者数： 4,284人														
④ボランティア交流室	件数： 560件	利用者数： 2,248人														
合計	件数： 3,213件	利用者数： 15,125人														

- 【4月】ビニールガウン展示 【5月】民生委員児童委員協議会パネル展示  
 【6月】お達者シニアアートギャラリー  
 【7月】元気いきいきシニアサポーター事業紹介パネル展示  
 【8月】コロナウイルス感染予防パネル展示【9月】もっと知ろう!点字の世界(展示)  
 【10月】赤い羽根共同募金を知ろう!(展示)【11月】折り紙教室(イベント)  
 【12月】お達者シニアアートギャラリー 【1月】お達者シニアアートギャラリー  
 【2月】ボランティアグループの紹介展示 【3月】福祉養育活動パネル展

④地域福祉交流プラザだよりの発行

地域福祉交流プラザの役割や事業内容、会議室の利用、地域福祉やボランティア活動について、広く市民に周知するための広報紙「プラザだより」を月1回 830部、計9,960部発行し、公共施設や関係機関に配布した。

⑤ホームページの運営

地域福祉交流プラザの役割や事業内容、会議室やボランティア交流室の利用案内や空き状況等について、広く市民に周知するために、講座の案内やボランティア活動の情報、会議室の利用方法等について掲載したホームページ及びブログに掲載し、施設の広報啓発を行った。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

指定管理業務の会議室・ボランティア交流室についての意見・要望について、備品の使い勝手など運用上の点において市民から意見をいただくことがあるが、適宜可能な対応を図っており、対応の難しい案件においても、事情を説明し、理解を得られるように努めている。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

利用者満足度調査で、施設利用者に対してアンケートを行った結果、職員の対応については「非常に良い」か「良い」が95.5%、「普通」が3.5%、「無回答」が1.0%であり、「悪い」「非常に悪い」という意見はなかった。利用した場所・施設や設備の使いやすさについては「使いやすかった」が94.6%、「使いにくかった」が0.5%、「無回答」が4.9%であり、利用者の多くにとって適切な施設運営がなされていることがわかる。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況については、概ね予算のとおり良好に執行されている。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

実施事業に関しては、施設の設置目的に沿ったものであり、概ね良好に実施されている。利用者満足度調査においては職員の対応及び施設・設備ともに非常に高い満足度であり、適切な運営が行われていることがうかがえる。

実施事業のうち、地域交流まつり事業中止時の代替企画「城東保健福祉エリア自主ツアー」及び地域福祉講演会については、やむなく中止となったが、城東保健福祉エリア

設立時から改定されていなかった来館者用案内パンフレットを見直し、最新の情報を掲載したパンフレットを作成した。また、対面実施する講座は感染防止対策を講じたうえで時機を見て開催するなど、コロナ禍を踏まえた手法を検討し、業務を実施しており、指定管理者の創意工夫が見られた。

《その他新型コロナウイルス感染症への対応》

新型コロナウイルス感染症への対応については、市の要請に基づき、適切な時期からイベント等の自粛や休館等の対応が図られた。

この際の利用者への周知については、速やかに管内掲示板での周知やホームページへの掲出を行う等、適切な時期・方法により行われている。

また、利用者への使用料の還付についても、市が示した考え方に則り、利用者の混乱なく実施されている。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。